

令和3年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 4 年 7 月 12 日 作成

事務事業名	情報・啓発事業	外部評価の状況	事務事業No.	121 - 3
		平成25年度事業		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民協働部	男女共同参画推進課	事業係	係長	相川 千雪	課長	永野 智美
施策体系	総合計画	政策	1	人権・市民参画		
		施策	2	男女共同参画の推進		
		基本事業	1	あらゆる年代における男女共同参画への意識づくり		
	その他の計画	個別計画	第2次飯塚市男女共同参画プラン			
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市男女共同参画推進条例第10条、第11条、飯塚市男女共同参画推進センター条例第2条の2					
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	女性の社会的地位の向上と男女共同参画社会づくりの促進を図るために、市民、事業者、市民団体等に、男女共同参画推進に関する情報の提供を実施するもの。					
対象	働きかける相手・もの	市民、事業者、市民団体等				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	市報特集号掲載（6・11月）、啓発パネル作成・掲示（6・11月/市内各所）、情報誌「サンクス」の発行、冊子「共に生きる」の配付、国・県・関係機関からの情報掲示。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	女性の社会的地位の向上と男女共同参画社会づくりの促進を図ることを目的とした情報提供を行うことにより、職場、学校、地域、家庭等において男女共同参画についての理解を深める。				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
情報誌発行部数	回	情報誌「サンクス」の発行部数	6,000	6,000	6,000
パネル掲示回数	回	パネル掲示回数	2	2	2

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
情報誌「サンクス」配付率	%	95	95	95	95	95
説明	方向性	達成目標年度	実績	93.8	93.2	
	維持	毎年度	達成率	98.74%	98.11%	

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 11 男女共同参画推進費
	大 999 その他の男女共同参画推進費	中 5 情報・啓発事業費	他 0 事業	

投入人員 (当該事務事業に対して 1年間に投入した人員)	(R2以降)		前年度実績実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)	
	人数	単価	人数	単価	人数	単価		人数	単価	
正職員	0.30	人	2,364	0.29	人	2,377		0.35	人	2,869
任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
2級パート	0.20	人	509	0.19	人	501		0.20	人	527
人件費計(A)			2,873			2,878				3,396
事業費	直接事業費(B)			791			616			1,113
	総事業費(A+B)			3,664			3,494			4,509
直接事業費のうち の主な歳出内訳	需用費			780			543			1,099
	役務費			11			14			14
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)			0			0			0
	国・県支出金			389			286			550
	市債			0			0			0
	一般財源			3,275			3,208			3,959
その他()										

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	飯塚市男女共同参画推進条例第11条、飯塚市男女共同参画推進センター条例第2条の2に基づき、行政が情報・啓発していくことが必要である。
	目的の妥当性	妥当	飯塚市男女共同参画推進条例第11条、飯塚市男女共同参画推進センター条例第2条の2に基づき、行政が情報・啓発していくことが必要である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	市民・事業者等を対象とする意識啓発事業であるため受益者が偏るものではない。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	年間を通し、市報掲載2回、情報誌発行などを実施しており、紙面等を有効活用することで省力化及び効果的な情報発信、啓発ができるように考える。
	負担割合の適正化	適正	行政が行う施策としての啓発事業のため受益者負担はなじまない。
	手段の最適性	最適	男女共同参画に対する理解促進を図るための事業であり、類似事業、関連事業はない。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	各施設でDVに関するメッセージを集め、メッセージのオブジェを作成し、コロナ禍でも実施できる情報啓発方法を実施した。
	上位施策への貢献度	貢献できた	市の主要施策である男女共同参画の推進のため実施している事業である。
	事業継続の有効性	ある	市の主要施策である男女共同参画の推進のため、継続的な啓発活動が必要である。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	コロナ禍でも実施できる出前講座の方法を検討するとともに、活動拠点での施設内での情報提供の方法についても工夫していく。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

パネル管理を的確にしたことで、作成時間と配付時間を短縮することができた。またパネルをクイズ形式とし、市民等が興味を持つようなパネルを作成した。またDV週間にあわせて、市民にDVのメッセージカードの記入をお願いし、そのカードを使ってDVオブジェを作成し、市民の目につくところに設置し、DVに対する理解を深めた。
出前講座の事務事業評価は121-1男女共同参画推進啓発主催事業であるため、内容を移動している。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成】情報誌「サンクス」では、当該年度の事業実施内容を掲載しているが、今年度は、令和4年度のサンクス相談室の相談実施日や福岡県の相談窓口を掲載することができた。

【課】市報、ホームページ、情報誌「サンクス」の掲載内容を精査し、職場、学校、地域、家庭等において男女共同参画についての理解を深めるための情報発信の方法を検討する必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充	④ ② ①			評価区分	事務事業の方向性
	現状維持	③ ⑤				
縮小	⑥			二次評価	①コスト・成果ともに拡充	
休・廃止	⑦					
	休・廃止	縮小	現状維持	拡充	コスト投入の方向性	

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策
例年記載している情報掲載内容を整理するとともに、情報管理課と協議しSNSの活用を検討する。

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策
「情報誌サンクス」に例年掲載している内容を検討することに加えて、令和4年度より、広報いづか飯塚市で活躍する女性を紹介する情報発信を行い、市内の女性のエンパワーメントにつなげる。

評価変更理由	評価としては、一次評価のとおりとする。 ただし、成果指標を具体的に示すこと。
--------	---